

生駒北小中学校だより

令和7年1月号

文責 校長 小竹仙哉



【学校教育目標】 自ら考え行動し、未来を切り開く児童・生徒の育成

しなやかに変化に対応しながら、一步一步着実に成長し続けることを願って

新年あけましておめでとうございます。2025年がスタートしました。今年の干支は、乙巳(きのと・み)です。どんな年になるのか調べてみますと、「乙(きのと)」は十干(じっかん)の2番目で、「しなやかに伸びる草木を指し、困難な状況にあっても紆余曲折しながら根気よく粘り強く進む忍耐力の象徴」、十二支の「巳(み)」は「脱皮を繰り返し成長する生き物でしなやかに曲線で動くから、失敗や困難の経験を新たな挑戦の機会として受け入れて、変化に柔軟に対応して自分自身がさらに1つ成長する」という意味があるということでした。がんばっているときに困難な壁に当たったとき、あきらめないでいろいろなやり方でチャレンジして成長して行ってほしいです。

さて、3学期の始業式が7日に行われました。子どもたちと夢や希望・目標を持つ大切さについて考えました。大きな目標の達成に近づくために、小さな目標に順番を付けてチャレンジしていくことや、状況に合わせて目標を変更する柔軟さも必要であることを話しました。これまで私は、『自分ごととして考え、自分の答えを持ち、責任を持って行動する』ことの大切さを折に触れ、子どもたちに話してきました。それを土台に3学期は目標を持ってそれに向かって粘り強く柔軟に行動できる人になってほしいです。

脱皮して成長するへびのごとく、変化に対応しながら着実に成長し続ける1年になるように、生駒北小中学校スタッフ一同、子どもたちに全力で向き合っていこうと、やる気満々です。昨年同様、本年もどうぞよろしくお願いたします。

地域と共にある学校を目指して(1・2学期を振り返り)

1・2学期に、地域の皆様や関係団体からのご協力をいただき、さまざまな教育活動を実施することができました。

【小学校】

作法教室、茶道教室、本の読み聞かせ活動、交通安全教室(歩行・自転車)、町探検による見学、路線バスについての学習、コマツ特別授業、昔の遊び体験、点字体験、和楽器演奏体験、たかやまこども園との交流活動など

【中学校】

救命救急講習、和菓子作り体験、高校・高専の出前授業、茶釜づくり体験、先端科学技術大学院大学の特別授業、三線・エイサー学習、福祉体験(車いす・手話・点字)、主権者教育学習(選挙について)、和楽器演奏体験、保育体験など

子どもたちを取り巻く環境は、ものすごい速さで変化しています。その中で生きていくために多様な力を子どもたちが身に付けられるように、学校教育も変わっていかねばなりません。そのためにも、地域の皆様のお力を貸していただくことが大切です。3学期もいろいろな体験学習が予定されています。これからもよろしくお願いたします。